様式２１－１　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

提出日　令和　　年　　月　　日

日本下水道事業団

　契約職

　　　　　　　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名(代表者)　　　　　　　　　　印

技 術 提 案 回 答 書

工事名

総合評価に係る技術提案（簡易な技術提案を含む）については、以下のとおりとします。技術提案が適正と認められた内容については、技術提案書に基づいて施工します。

|  |  |
| --- | --- |
| 技術提案項目 | 提案内容 |
| ［入札説明書に記載された技術提案内容毎に記載］ | ［提案内容を簡潔に記載］ |
| ［入札説明書に記載された技術提案内容毎に記載］ | ［提案内容を簡潔に記載］ |
| ［入札説明書に記載された技術提案内容毎に記載］ | ［提案内容を簡潔に記載］ |

注１）提案内容の欄は、施工方法等の技術提案を求めた場合には技術提案の概要を、数値等を求めた場合はその提案値を簡潔に記載する。

　　注２）提案内容の具体的事項については、様式２１－２に記載する。

　　注３）本様式の電子データ（Microsoft　Word2010形式以下又はExcel2010形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。

様式２１－２　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （用紙A４）

技術提案書（簡易な技術提案を含む）

工事名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

技術提案項目：　［入札説明書に記載された技術提案内容毎に記載］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 技術提案内容－１ | ［参加者の技術提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容－２ | ［参加者の技術提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容－３ | ［参加者の技術提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する場合は、参考資料番号を記載］ | |
| 技術提案内容－４ | ［参加者の技術提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容－５ | ［参加者の技術提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

　＊上記様式は、1つのテーマに対し５個の技術提案を求めた場合の例。＊

注１）技術提案２つ毎に本様式Ａ４サイズ片面１枚以内を標準とする。なお、文字サイズについては10.5又は11ポイントを標準とする(ゴシック体又は明朝体)。

注２）参考資料を添付する場合は、以下に示す項目に留意すること。

・参考資料は、技術提案書を補完する図表、写真、文献の抜粋等のみを記載すること。

・Ａ４サイズにて明確に判読できるものとし、技術提案毎に片面１枚以内とする。

　　　　ただし、根拠数値等の計算過程等を記載する場合は、技術提案毎に片面２枚以内とすることができる（参考資料は原則１枚以内であり、根拠数値等の計算過程の記載のみであれば、追加で片面１枚以内添付可）。

注３）提案内容は、具体的な根拠を伴い担保・確認ができるものとし、一般仕様書や特記仕様書による」などの抽象的な内容（「丁寧に施工する」等）の場合は評価しない。

注４）単に「品質管理の頻度を増加させる」、「出来形の基準値を厳しくする」等の品質向上に繋がらない技術提案は評価しない。

注５）「協議する」、「計画する」、「提案する」、「検討する」、「思われる」、「目標とする」は施工の実施を担保するものではないので加点評価対象としない。

注６）出来形（寸法等）管理手法は、規格値とおり仕上がっているのが当然である為、加点評価対象としない。

注７）技術提案内容に自ら標題等を設けることにより、各々有効・無効の評価が必要な複数項目の提案をその標題等に関連した１項目として提案しないこと。

注８）提案項目数の上限を超える提案を行った場合は、その評価項目の技術提案の全てを加点評価対象としない。

注９）本様式の電子データ（Microsoft　Word2010形式以下又はExcel2010形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。

様式２２　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （用紙A４）

提出日　令和　　年　　月　　日

日本下水道事業団

　契約職

　　　〔氏　　名〕　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名(代表者名)　　　　　　　印

技術提案書（簡易な施工計画）

工事名：

　簡易な施工計画については、下記のとおりとします。本提案が適性と認められた場合には、提案に基づいて施工します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施工計画内容 | ［入札説明書に記載された施工計画内容を記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 施工のための事前調査・事前準備内容等 | ［①品質確保のため、②安全確保のため、③環境保全ため、④維持管理性向上ため、等の  具体的な事前調査・事前準備内容等を簡潔に記載］  ［上記①～④事項すべてを記載する必要は無い］ | |
| 施工方法等 | ［①品質確保のための具体的な施工方法・施工上の工夫］  ［②安全確保のための具体的な施工方法・施工上の工夫］  ［③環境保全ための施工方法・施工上の工夫］  ［④維持管理性向上ための施工上の工夫］  等を簡潔に記載］  ［上記①～④事項すべてを記載する必要は無い］ | |
| 施工中の管理方法・施工後の出来形確認方法等 | ［上記の工事内容を確実に履行するために必要な施工管理方法を簡潔に記載］  ［具体的な施工管理方法、施工完了後の出来形確認方法等方法等を簡潔に記載］ | |

注１）施工計画は、本様式Ａ４サイズ片面１枚以内とする。なお、文字サイズについては10.5又は11ポイントを標準とする(ゴシック体又は明朝体)。

注２）参考資料を添付する場合は、以下に示す項目に留意すること。

・参考資料は、技術提案書を補完する図表、写真、文献の抜粋等のみを記載すること。

・Ａ４サイズにて明確に判読できるものとし、片面１枚以内とする。

注３）提案内容は、具体的な根拠を伴い担保・確認ができるものとし、一般仕様書や特記仕様書による」などの抽象的な内容（「丁寧に施工する」等）の場合は評価しない。

注４）単に「品質管理の頻度を増加させる」、「出来形の基準値を厳しくする」等の品質向上に繋がらない技術提案は評価しない。

注５）「協議する」、「計画する」、「提案する」、「検討する」、「思われる」、「目標とする」は施工の実施を担保するものではないので加点評価対象としない。

注６）出来形（寸法等）管理手法は、規格値とおり仕上がっているのが当然である為、加点評価対象としない。

注７）工程上の進行状況を単に記載している内容は、加点評価対象としない。

注８）技術提案内容に自ら標題等を設けることにより、各々有効・無効の評価が必要な複数項目の提案をその標題等に関連した１項目として提案しないこと。

注９）提案項目数の上限を超える提案を行った場合は、その評価項目の技術提案の全てを加点評価対象としない。

注10）本様式の電子データ（Microsoft　Word2010形式以下又はExcel2010形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。